

# とた 議会 だより



12月定例会

No 154号

2008年(平成20年)1月31日



▲力持ちぞろいで、あっという間にお餅のできあがり (こどもの国での相撲連盟もちつき大会)

きれいな街を目ざして“ポイ捨て・歩行喫煙は禁止”	2
議員提出議案、討論の概要	4
そこがききたい(一般質問)	5
行政視察レポート	14
議会日誌、次回の予定	16

# 平成19年 12月 定例会

11月27日～  
12月14日



きれいな街を目ざして

## “ポイ捨て・歩行喫煙は禁止” 条例を可決

12月定例会は、11月27日から12月14日までの18日間の会期で開かれ、市長から提出された議案35件のほか、議員提出議案1件と請願を慎重に審議しました。

また、12月4日から3日間にわたり行われた一般質問では、17人の議員が活発な議論を展開し、執行部の考えをただしました。

市長から提案された議案35件の内訳は、空き缶のポイ捨てや歩行喫煙を禁止する「ポイ捨て等及び歩行喫煙をなくす条例」や、本年4月からの組織改正に伴う条例改正、議会から選出されている附属機関等委員の引き揚げに係る条例改正など、条例案件20件と、土地開発公社定款の変更など一般案件3件、補正予算12件でありました。

これらの議案は、本会議での説明、質疑の後、各常任委員会に付託され、細部にわたって審査を行いました。その結果、国民健康保

険条例、医療保健センター

1使用料手数料等条例、奨学資金条例の各一部改正と、一般会計補正予算の4件は多数決により、その他の議案は全会一致で可決しました。(討論概要は3ページをご覧ください。)

また、最終日には選挙管理委員及び補充員の選挙が行われ、委員4人と補充員4人を選任しました。

そのほか、会期中で議員提出議案として、「戸田市国民健康保険条例の一部を改正する条例」の一部を改正する条例が提出され、説明、質疑の

後、委員会付託を省略し

て、最終日に討論、採決を行った結果、賛成少数で否決となりました。(議員提出議案の提案説明及び討論の概要は3ページをご覧ください。)

なお、今議会に提出された「ゆきとどいた教育を進めるための30人学級実現への請願」と、継続審査中の請願3件は、いずれも結論に至らず、継続審査となりました。

### 主な議案の概要

◎ポイ捨て等及び歩行喫煙をなくす条例

空き缶等のポイ捨て

て・歩行喫煙・飼い犬のふん放置の禁止、喫煙制限区域や美化推進重点地区の指定等を定める新規制定で、本年6月1日から施行されます。

◎国民健康保険条例の一部改正

医療費患者負担軽減措置を3歳未満から義務教育就学前までの拡大と、70歳以上の負担割合を10分の1から2

に引き上げるものです。

◎医療保健センター使用料、手数料等条例の一部改正

## 行政組織を 大幅改正

本年4月1日施行

受益者負担の観点から、診断書料などを見直すものです。

◎奨学資金条例の一部改正

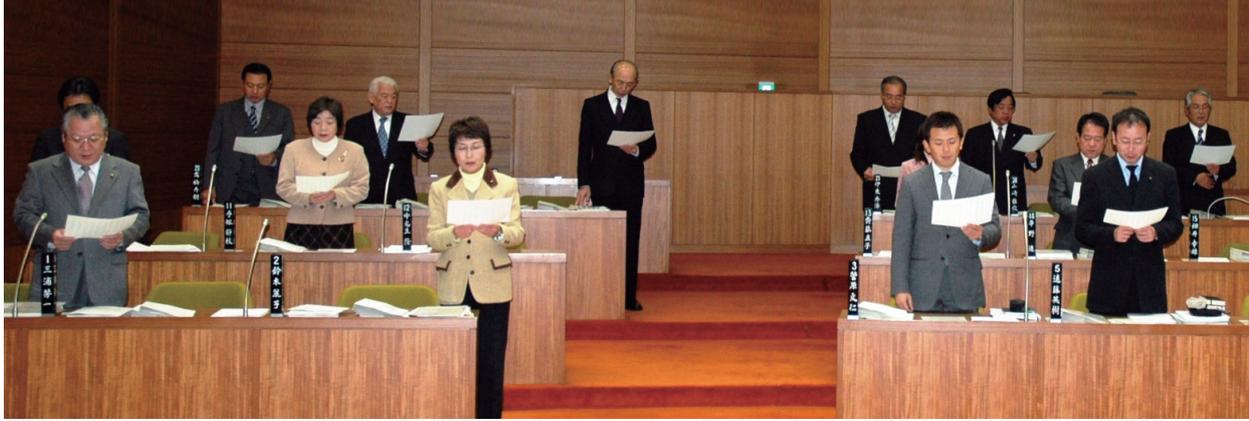
より多くの人が利用できるよう、半額返還の見直しと、返済期間を5年から10年に延長するなどの改正です。



▲ワンちゃんと飼い主のご協力で美しい街に



▲ 中名生議長



▲ 9月定例会で定めた“議員信条”を唱和して、新たな気持ちで議会がスタート

◎上下水道事業経営審議会案例

上下水道事業の合理的な経営を図るため、事業の基本計画の策定、上下水道料金の見直しや事業経営に係る重要事項に関して審議する審議会についての新規制定です。

◎行政組織条例等の一部改正

限られた経営資源を効果的・効率的に活用し、地域特性や市民ニーズに対応した行政サービスを提供するため、市民にわかりやすく、協働社会に対応した組織の構築、トップマネジメントの強化を改正の視点として実施するものです。詳細は下図をご覧ください。

◎一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ5億5109万5000円を追加するもので、主な歳出は次のとおりです。  
① 課税資料のデジタ

行政組織の改正の柱

平成20年4月1日施行

- 1. 市民生活部の機能強化**
  - 機能集約し、市民から分かりやすい組織
  - 地域振興、市民との協働に対応など
- 2. 教育委員会事務の市長部局への移管**
  - 文化、スポーツ分野を移管し、青少年分野の事務を委任など
- 3. こども青少年部の設置**
  - 乳幼児から青少年まで総合的に支援など
- 4. 政策秘書室の設置**
  - トップマネジメントの強化など
- 5. 財務部の設置**
  - 財政、財産管理、税務、徴税機能の一元化
- 6. 行政委員会事務局の設置**
  - 適切な人員の配置、組織の効率化
- 7. 本庁舎外施設の再編**
  - 施設機能を市民サービスの提供に特化

ル化により、仕分け・台帳綴り等の膨大な作業時間の短縮や問い合わせ対応の迅速化を図るための、課税資料イメージメントシステム導入に伴う経費。  
② 障害者自立支援事業（自立支援給付、地域生活支援）経費を実績に基づき増額。  
③ 乳がん、胃がん等の申し込み者の増加に伴うがん検診委託料の増額。  
④ 本年4月から、入浴券支給方式を入浴証方式へ変更するに当たり、健康長寿入浴準備費補助金の新規計上。  
⑤ 都市基盤整備事業の増加に対応するための都市開発基金積み立て。

選挙管理委員・補充員を選任

- ◎選挙管理委員
- 青木 宏之 氏（新任）
  - 池上 良久 氏（新任）
  - 江口 宏和 氏（新任）
  - 御嶽 隆英 氏（再任）
  - ◎補充員
  - 駒崎 恭子 氏（再任）
  - 島野 皓 氏（新任）
  - 熊木 茂 氏（新任）
  - 萩原 平寿 氏（新任）

あけましておめでとうございます



戸田市議会  
議員一同（議席順）

議長 中名生 隆  
副議長 細井 幸雄  
議員 三浦 芳一、鈴木 麗子、菅原 文英、遠藤 守郁、召本 明子、榎本 厚樹、岡井 郁子、花井 栄子、馬場 伸子、手塚 静枝、斎藤 直一、平野 隆直、浅井 隆夫、熊木 進、本木 隆夫、望月 樹晴、高橋 三樹、神谷 雄三、奥田 秀雄、伊東 雅秀、山崎 良雅、秋元 隆夫、栗原 民雄

# 討 論

今定例会では、条例改正4件、補正予算1件に対し9人の議員が賛否の討論を行いました。なお、討論要旨並びに議員提出議案第13号の概要は次のとおりです。

## 国民健康保険条例の一部を改正する条例

**賛成** 日本共産党 本田 哲議員

乳幼児の医療費負担軽減措置の拡大は、大いに歓迎しますが、高齢者の窓口負担を1割から2割に引き上げることが賛同できません。

この間、定率減税の廃止、高齢者控除の廃止、住民税増税など、連続する負担増が高齢者を苦しめています。

高齢者の命を脅かし、くらしを破壊する悪法に、関連する条例改定には、強く反対します。もっと市民要求にこたえるべきであり、反対するものです。

**賛成** 公明党 鈴木 麗子議員

今回の改正には、就学時までの子どもの医療費負担を引き下げる点も含んでおり、医療費全体を見渡した態度こそ、制度の持続性を高めるもので

です。

本市の18年度国保事業費では、その23%を前期高齢者の医療費が占めており、高齢世代内の公平性、制度の持続可能性の確保、財源の健全化の観点から必要な改正であり、やむを得ないものと考え、賛成します。

## 医療保健センター使用料、手数料条例の一部を改正する条例

**賛成** 日本共産党 本田 哲議員

改正理由で、センター運営の健全化を挙げ、約42万円の歳入増を見込んでいますが、それほどセンター運営は行き詰っているのでしょうか。「受益者負担徹底」の考えに立つ改正と言わざるを得ません。

安価で診断書等を提供できることは、地域に根ざした公的医療機関としての重要な役割です。市民の生活が困窮しているときに、使用料等の大幅

な改正は認めることはできません。

## 奨学資金条例の一部を改正する条例

**賛成** 日本共産党 花井 伸子議員

半額返済を全額返済に改正する内容であり、貧困と格差が一層拡大している社会情勢から、今こそ本市の先駆的役割を果たしてきた奨学金制度の真価が問われるときです。制度の目的に沿い、半額返済を続けられることを願い、反対するものです。

**賛成** 公明党 三浦 芳一議員

奨学生及び連帯保証人の資格要件の緩和、併せて財源確保の観点から、全額返済にするものであります。公費投入分がなくなる場合には、奨学金予算の増額は、当然の帰結であると考えます。

将来的に持続可能な制度とするために、今回の改正は必要なものであると判断し、賛成するものです。

## 平成19年度一般会計補正予算(第3号)

議員提出議案第13号 国民健康保険税条例の一部を改正する条例

**賛成** 日本共産党 望月久晴 議員

本案は、平成18年12月議会で可決した国保税条例の改正条例第2条を削除し、国保税改定を中止させるものです。20年度の値上げが実施されれば、年所得百万円の2人世帯で約2万3千円の増税となり、こうした大きな負担増に国保加入世帯は耐えられなくなっています。

国保は社会保障制度であり、加入世帯の生活を圧迫するようなことはあってはなりません。さらに、来年度から後期高齢者医療保険制度が始まり、新たな負担が高齢者に押し付けられます。こうした諸般の状況を鑑み、本案を提案するものです。

**賛成** 日本共産党 望月 久晴 議員

本案は、5億円を都市開発基金に積み立てるものです。福祉・教育・市民生活分野の予算を削減してまで、都市整備資金を確保する必要性はありません。19年度一般会計は、このまま推移すると、予算比で約30億円の歳入超過、15億前後の剰余金が発生します。これだけの余裕財源があるならば、もっと市民要求にこたえるべきであり、反対するものです。

**賛成** 平成会 菅原 文仁 議員

都市開発基金積立金は、①継続性があり機能している基金であること。②適正な比率で推移し、福祉・市民サービスとのバランスがとれていること。③社会基盤整備が今後必要であること。以上3点からも必要です。さらに、住みやすいまちづくりの推進、計画的な都市開発と財政運営は、市民の福祉向上にこたえるものであり、本案に賛成するものです。

## 反対

平成会 平野 進 議員

本市国保の財政運営は、歳入不足を補うため、毎年一般会計から11億円余の法定外繰入金に依存し、大変厳しい状況にあります。

条例提案は、議会の使命からも否定はしませんが、この内容は18

## 賛成

日本共産党 岡崎 郁子 議員

賛成理由は、①市民生活最優先の姿勢を実現する提案であること、②社会保障のセーフティネットを強化する案であること、③財政状況を改善すれば、値上げを行わなくとも、十分にやっつけられる

年12月議会で十分に審議し議決したものと違いがなく、その後の状況変化が見られない中、執行者が提案するならまだしも、議員が改正案を提案するとは驚きです。貴重な時間の浪費、議会の権威を失墜させる行為と批判されてもおかしくないものです。

うことです。来年度の国保税値上げを知った人からは、驚きと怒りの声が寄せられています。市民の声を受けとめ、一度可決したのも、勇気をもって正すべきは正す、これが市民の最も身近で活動している議会の責務ではないでしょうか。

# とだがききたい

## 一般質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例会市議会で、市政全般に対する質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では12月4日から3日間、17人の議員が一般質問を一問一答方式で行いました。

ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要です。



▲木漏れ日ふりそそぐ初冬の朝（後谷公園脇歩道）



一般質問の見出しのリニューアルについて

※前号から、質問見出しの次に「〇〇」として、答弁の見出しを掲載しました。

## とだがききたい



▲平成19年10月オープンの花センター戸田

⑤平成20年度から本格的な障がい者・高齢者雇用を計画している。  
⑥花の生産、生ごみ堆肥の土づくり等に小中学生へ生きた環境教育の場として広く受け

議員 ①華かいどう21への花苗提供。②花ロード美女木への花苗提供。③生ごみリサイクルによる資源化・減量化。④花のまちづくりでコミュニティの充実。⑤障がい者・高齢者の雇用促進。⑥ボランティア育成等の環境教育の促進。各目的の具現化に向け、どのように進めていくかを伺う。

市民生活部長 ①道路残地への植栽、緑のボランティア等の団体、公共施設等への配付を計画する。②国土交通省からの供給不足分を補充する。③市民等に専用バケツの貸し出し、搬入時に花苗との交換、資源化・減量化を推進する。④環境・地域ボランティアの活動施設として考えている。

## フラワーセンター戸田の今後は

平野 進 議員

の今後は

入れ、ボランティア育成の促進を考えている。

## 危険な交差点対策は

議員 ①市内の危険な交差点の実態把握と事故防止対策は。②安心まちづくり課発信の「市内犯罪発生状況」ニュースに同時掲載はできないか。

市民生活部長 ①平成18年中の人身事故件数が多い交差点は、美女木八幡で13件、新留「メゾンエメラルド」前で6件。対策として、美女木八幡は、案内標識、路面標示、ポールなどの検討がなされ、今年度中に施工予定。メゾンエメラルド前は、一灯式信号機、道路の色分け、自発光鏡びょうなど対策済みである。②防犯ボランティアアリーダーカレッジ卒業生、約80名に毎月送付している。防犯活動とともに、交通事故抑止に活用できるよう、交通事故情報を盛り込んだ資料づくりを検討する。

一般質問

神谷 雄三 議員

# 呼び寄せ老親を 視野に入れた対策が必要

「高齢者数の増加に細心の注意」

**議員** 市が高齢者対策をとるに当たって必要なことは、高齢者の変化をどう見ておくかである。しかし、過去の記録においてさえ、同じ市の福祉部が発行している2つの計画書で数字が違っていて、統一されていない実態がある。高齢者対策は率も大切なことだが、本市のように人口が伸びている都市は低い数値となる。問題なのは、高いリスクを持った年齢層の絶対的人数である。これは

大変な伸びを示している。平成13年から18年で、4



▲青空のもとで運動すれば気分も一新します

000人増、1・4倍である。

もう一つ、本市にとつては心配な現象がある。本市に住む人が故郷の親と一緒に暮らすうとして呼び寄せる老親のことである。平成14年以降で見ても、70歳以上の転入はいずれも転出を上回っている。この点も予測に入れて、対策を立てる必要があるのではないかと。

**福祉部長** 過去の高齢者率・数が計画書により違

ではないか。

馬場 栄一郎 議員

## 東部地区に緊急

### ヘリポートが必要では

「災害に備え、離発着箇所を検討する」

**議員** 道路が寸断され、緊急物資を陸路にての搬送が不可能になった場合、空輸が大きな役割を担う。戸田市地域防災計画に、臨時ヘリポートの指定が市内2カ所になされている。中央地区のス

ポーツセンター、西部地区の道満グリーンパークであり、人口割合が多い東部地区にはヘリポートの指定がされていない。空輸による物資輸送を考えた時に、東部地区に臨時ヘリポート設置が必要

**福祉部長** 臨時ヘリポートの設置には、さまざまな条件を満たす必要があり、東部地区の設置は困難であるため、慎重に検討していく。

**議員** 緊急避難として、災害時に離発着は認められるべきであり、防災計画はいざという時の計画であるから、東部地区で緊急離発着可能なヘリポートを想定し、防災計画

を作成すべきである。

**総務部長** 今後、運用マ



▲災害時に威力を発揮する防災ヘリ

**議員** 災害応急対策を迅速に実施するために、要員、物資等の緊急輸送を円滑に行うための確保が重要。緊急輸送道路における既存建築物・落下物・ブロック

緊急輸送道路  
確保は

ニユアル等に東部地区離発着可能な臨時ヘリポートを想定していく。

いがあることは、今後注意する。指摘のとおり、本市は高齢者が転入超過になっており、こうした特殊要因も含め、高齢者数の増加には細心の注意を払っていく。

### 家賃補助の実行を

**議員** 民間賃貸住宅に住む年金暮らしの高齢者で生活保護基準に近い生活をしている人がいる。市営住宅が必要を満たせばいいが、実情は厳しい。

高い建設コストの市営住宅で、この需要を満たせないとすれば、所得制限を設けて、家賃補助制度を実施して、「住」への安心感を与えるべきではないか。

**福祉部長** 公営住宅入居資格がありながら、民間アパートに居住している方との格差は大きく、何らかの対策はとらなければと考える。しかし、市単独で実施することは困難である。

堀の実態把握をされたのか。また、多くの道路が緊急輸送道路に指定されているが、復旧の優先順位は。

**総務部長** 落下物・ブロック堀の実態調査は完了しているが、沿道の建築物の実態把握については、今後検討する。緊急輸送道路の優先順位は、決めておらず、国や県と協議し、今後検討していく。



**議員** 健康寿命を延ばすために、がん・生活習慣病などの早期発見、早期治療が大事である。特にがん検診は50%の目標を目指して、諸健診のさらなる充実を図り、市民の

**医療保健センター事務長** 個別に変わって、健診受診者が毎年10%増となっている。期間内なら都合のいい日に、また、か

### 「受診率が個別健診で毎年10%増」

健康増進を要望する。

## 健康長寿のために

## 諸健診の充実を図れ

三浦 芳一 議員

奥田 実 議員

## 敬老会参加対象者の見直しを 「今後の推移を見て対応したい」

**議員** 市が行う敬老会への招待者は、73歳以上の方へ案内を差し上げているので、70歳になっても参加できない。そこで、対象者を70歳以上の偶数年にしたらどうか。

また、高齢者はますます増加し、今の文化会館では収まらなくなることが考えられる。そこで、三々五々集まって、一日楽しく過ごせるようにするとか、見直す必要があると思うが、担当の考えを伺う。

**福祉部長** 過去の参加対象者の年齢を見ると、昭和59年までは70歳以上の方を、その後、順次1歳ずつ引き上げ、平成元年以降は73歳以上の方へ式典の招待状を差し上げるようになった。対象者の引き上げで対応してきた経過がある。

本年度の敬老会の対象者は6843人で、参加者は約850人だった。対象者は漸増しているものの、近年は、ほぼ本年

かりつけ医で受診できることなどから、市民の健康を守ることに寄与できたと考えている。がん検診もさらに推進を図りながら、受診者数を増やしていくよう努めていき

たいと考えている。

**議員** 「特定健診」の内容と「保健指導」は、どう変わる



生活習慣病予防のための骨密度検診

のか。

**福祉部長** 対象は40歳から74歳の被保険者・被扶養者。内容はメタボリックシンドローム及び予備



文化会館で開催された敬老会式典

と同じくらの800人前後で推移している。また、近隣市の状況は、蕨市は77歳以上で、午前・午後の2回の開催。川口市は実施せず、90歳以上の方へ慰問品の贈呈。さいたま市に

おいては、対象者は75歳以上で、各自治会で実施し、市は参加人数に応じた費用を社会福祉協議会を通して自治会に援助している。

今後、会場の戸田市民文化館大ホールから招待者があふれる状況が見込まれる場合には、対象者の年齢も含めて総合的に検討していきたい。



群の抽出・予防・解消が目的である。保健指導は、リスク別に応じて、医療保健センターで実施の予定である。

### 自転車専用レーンを

**議員** 自転車環境の整備をさらに図るべきと考えますが、どうか。

**都市整備部長** 舗装の色を変えるなどして、自転車と歩行者を視覚的に分

離するレーンの設置などを検討する。歩道の段差解消にも努めたい。

**議員** ルール・マナー違反が事故の大きな要因にもなっている。対策をどのように考えるか。

**市民生活部長** ルールの確保やマナーアップには、啓発や安全教室だけでは限界もあるので、蕨警察署に対し、なお一層の指導、取り締まりの強化を求めていく。

鈴木 麗子 議員

# 父親の子育て参加の ための環境づくりを 「父親の集いの場や情報サイトの充実に努める」

**議員** ①幼児とその父親にとつての安全な遊び場となる保育園の休日開放を求める。②児童公園内遊具の適正利用を図るための対策を求める。③父親の子育て参加に役立つ情報誌や市のホームページの充実を求める。

**福祉部長** ①日曜日の開



▲遊ぶときの目安にして下さい(遊具使用年齢シール)

放は人材の配置等で問題がある。土曜開放を今後、全保育園に拡大し、開催回数も増やしたい。③子育て情報サイトにアクセスできるなど、父親を支援するサイトの開設を行っていききたい。

**都市整備部長** ②遊具での事故予防に向け、今年度調査を行い、メーカーと連携の上、来年度からシールの活用が可能な遊具に使用年齢シールの添付を進めたい。

市内の環境向上に向けて

**議員** ワンルームマンション等の建設による周辺への影響と対策を問う。①騒音や違法駐輪・違法駐車への対応はどうか。②ごみ分別協力・ごみ集積所利用での周辺住民との連携や、ごみ集積所の基準見直しはどうか。③市内全ごみ集積所の状況を外部評価で検証し、ごみ減量と排出者のモラル向上を図ってはどうか。

**市民生活部長** ①迷惑行為への指導は、内容を慎重に判断して対応する。また、蕨警察署と連携し、指導・取り締まりを実施する。②ごみ集積所開設での協議は、地元衛生自治会長と行い、使用状況が悪い所は、管理者等と誓約書を締結し、指導している。今後は、生活スタイルの違いを考慮し基準についても考える。③排出状況が悪い集積所は、回収業者の報告を受け、指導しているが、今後多角的な視点で環境向上を図っていく。

## 一般質問

高橋 秀樹 議員

# 議員の引き揚げで 形骸化は避けよ

## 「有識者等の選任に配慮」

**議員** 附属機関(行政委員会等)の36機関中、25機関から議会選出の委員を引き上げることとなった。委員会の形骸化にならないよう、有識者や選出母体等に配慮し、活発な委員会となるように期待したい。

## スポーツ施設の整備を

**議員** ①スポーツセンターの陸上競技場トラックを400メートル用に改修しては。テニスコートの2面にも夜間照明の設置はできないか。駐車場の台数増と将来の整備を。第一競技場は盗難が

**総務部長** 附属機関の運営が適正に行われるよう、有識者や公募等、各事業に精通した人材を選任するよう配慮する。定

多いが、貴重品ロッカーの設置はできないか。  
②北部球場のスコアボードを電光掲示板への改修や、照明が低いので、改善できないか。

**教育部長** ①陸上競技場は区画整理に合わせ、可能であれば改修を検討する。テニスコートの照明は実現に向け努力する。駐車場は今後の検討課題である。貴重品ロッカーは設置に向け努力する。

**都市整備部長** ②北部球場は老朽化しており、全体の改修の中で、電光掲示板や照明を改修したい。

## 給食センターに炊飯設備を

**議員** 新しい給食センターに炊飯設備の設置をし、米飯給食の回数を増やしてはどうか。

**教育部長** 給食センターの炊飯設備は検討する。米飯給食のより一層充実を図り、食育を推進していく。



▲スポーツセンターに貴重品ロッカーの設備を

# 学校ALTの充実を

岡寄 郁子 議員

## 「採用基準を厳守して選考」

**議員** 英語教育の一翼を担うALTは民間会社から派遣されているが、年度途中の退職や1年限りの勤務が多い。①委託仕様の採用基準は守られているのか。②給与や社会保険など労働条件の確認は。③年度途中で退職

しないよう、委託会社やALTに確認を。

**教育部長** ①守られている。教育委員会も直接面接し、能力のある人材を選んでいる。②労働基準法に基づき委託会社とALTが契約しており問題はない。③委託会社に要請する。ALTへの確認は検討する。

議員 新聞報道で選挙公費（ポスター代、選挙カーガソリン代等）の水増し請求が問題となった。①上限額の見直しを。②印刷代内訳、ガソリン支給した車のナンバー記入等、提出書類の改善を。③本市の平成17年市議会議員選挙の状況は。



▲ ALTによる授業

**議員** 長期雇用できると、良い人材は直接雇用も検討してほしい。

選挙公費の不正流用を防ぐために

**議員** 新聞報道で選挙公費（ポスター代、選挙カーガソリン代等）の水増し請求が問題となった。①上限額の見直しを。②印刷代内訳、ガソリン支給した車のナンバー記入等、提出書類の改善を。③本市の平成17年市議会議員選挙の状況は。

**選挙管理委員会事務局長** ①国・県・他市町村の動向を見たい。②現在は県内統一の様式を使用している。改善は市町村間の研究会に諮る。③ほぼ上限に近い人から0円までいるが、適正なものとして認識している。

市営住宅家賃のコンビニ納付を

**議員** 市や支所、銀行だけでなくコンビニでも納められるように。

**都市整備部長** 入居者の意向を聞き検討する。



熊木 照明 議員

## 河川・水路の防護柵の補修の考えは

「早い時期に改修を進めたい」

**議員** 市内を流れる河川・水路で、春の桜の名所として、普段から散歩やジョギングなどで親しまれている新首南の三面張水路の防護柵が腐食をしたり、木の根が張り過ぎたりし、土台から浮き上がったり、また、車などに押し倒されている場所が見受けられるが、安全管理対策として補修・取り替え等を考えてもらいたい。

**都市整備部長** 毎年、現

況調査を行い、特に危険な箇所を重点的に補修・取り替えをしている。今年度は根による舗装の浮き上がり35カ所、防護柵の危険箇所112メートルの改修を実施した。今後

**議員** 下町3カ所の「さくらひろば」と、「氷川町さくらひろば」の防護柵に描かれている動物の絵の塗り直しをしてもらいたい。

**都市整備部長** 景観に配慮し、地元で親しまれる絵として塗り直しをする。

**議員** 「下町さくら中央ひろば」の段差の解消をしてもらいたい。



▲ 修繕が急がれる防護柵（新首南の水路）

**都市整備部長** 防護柵を含め、来年の花見の時期までには改善を行い、安全管理対策に取り組む。

テレビのデジタル化に伴う市の対応は

**議員** 平成23年7月でアナログ放送が終了、テレビのデジタル化が始まるが、その周知徹底、また、さまざまな問題が考えられるが、市の対応は。

**総合政策部長** 広報やホームページ、またポスターを公共施設に掲示周知し、テレビ等の不法投棄対策等も考えていきたい。

一般質問

本田 哲 議員

# 財政支援を県に強く 要望していくべきでは 「国・県に財政支援は要望していく」

**議員** 4月実施予定の後期高齢者医療制度は、75歳以上すべての高齢者から、埼玉県平均年額9万3990円の保険料が年金から天引きされる。高齢者のくらしを守る立場から、制度中止を国に強く求めるべきではないか。

**福祉部長** 法令にのっとり、この制度のもとでの事務を進めていく。

**議員** 市民への周知徹底

は、どう進めるのか。出前講座で対応するのか。



▲ 制度中止を求める全国の高齢者（厚労省前）

**福祉部長** 1月末より、福祉センター4カ所とコナパルで説明会を開催する。出前講座も要望があれば、出かけて説明する。

**議員** 市長は、広域連合議会議員になるが、保険料の軽減や減免制度の拡充を県に強く要望していくべきではないか。

**市長** 今までも県市長会で、県に対し財政支援を求めてきた。広域連合議員としての立場で、国・県に財政支援は要望していく。

**議員** 保険料を1年間滞納すると、資格証明書が発行される。資格証明書の発行はすべきではないと考えるが。

**福祉部長** 現段階では、広域連合に準じた考えに基づき実施していく。

## 橋の改善・拡幅を

**議員** 一本橋、眼鏡橋、本村橋の交通量調査の結果を踏まえた今後の計画は。

**都市整備部長** 一本橋については、実施に向け、設計業務を進めていきたい。眼鏡橋や本村橋は、財政状況を勘案しながら、整備について検討していきたい。

## 召田 厚 議員

# 新学習指導要領が 子ども達に与える影響は 「市民の理解を得ながら進めていく」

**議員** ゆとり教育を見直し、学力向上を主眼に置いた新学習指導要領が施行されるに当たり、開かれた教育委員会として、今後どのように周知し、進めていくのか。

① 学力向上のため、授業時数が、小学校1・2年生は約70時間増、3年生から中学生は35時間増となる。夏休みを短縮し、授業時数を何とか確保している現状であるが、今

後どのように確保していくのか。

② 現在進められている自校式給食について、給食センターの建設を含め、どの学校を行っていくのか、計画を伺う。

③ 教師が子ども達と向き合う時間の確保のために設置された「スリム化研究委員会」であるが、その具休策、その成果について伺う。

**教育部長** ① 二学期制導入を見据え、市民に周知



▲ パソコンで名刺をつくったよ

② どのような順番で行うかは考えていない。さまざまな課題を考慮しながら、当面は1年度に1校という方針で順次整備を進めていく。

③ 校務分掌など事務負担については減らしている。今後も、教師が子ども達と接する時間が確保できるように検討する。

## こどもの国 再整備の計画は

**議員** 老朽化が進み、構造上で強度について不安があるとされ、計画もそのままとなっているが、今後の計画について伺う。

**教育部長** 現在、改修・建て替えも含めて検討しており、早ければ今年度中に方向性を示す。



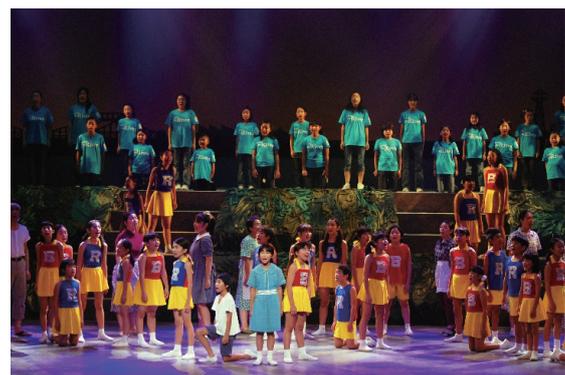
**議員** 本市の税等の収納率向上に対する取り組みで、コンビニ収納については大変好評を得ている。また、昨年11月に自治法が改正され、公金のクレジット決済が可能になった。更なる滞納整理、

**市民生活部長** 現在、県内で導入している自治体はない。初期導入費、手数料の問題があるが、全庁的な課題として議論し

**議員** シンクタンクのコストシミュレーションで、コスト減との研究結果もある。導入に向けた

**議員** 市民ミュージカル「ザ・リバー」の再公演が行われた。一流の演出により市民が素晴らしい舞台芸術を表現しており、大変感動した。本市を豊かな文化芸術都市にするために市はどのようなサポートをしていくのか。

**議員** 文化振興基本条例や計画を策定して、文化振興のビジョンを



▲感動に包まれた市民ミュージカル「ザ・リバー」

# 公金のクレジットカード決済を可能に

## 「費用対効果を見極めて研究する」

菅原 文仁 議員

利便性向上の観点から取り組みでは。

**市民生活部長** 約550万円。最も重要な問題は、多額な手数料負担であると認識している。

**議員** 市民ミュージカル「ザ・リバー」の再公演が行われた。一流の演出により市民が素晴らしい舞台芸術を表現しており、大変感動した。本市を豊かな文化芸術都市にするために市はどのようなサポートをしていくのか。

**議員** 文化振興基本条例や計画を策定して、文化振興のビジョンを

て、費用対効果を見極めて研究していく。

**議員** 先進地では、初期導入コストは少額と聞いているが、本市の概算コストは。

調査・研究を要望する。

市民ミュージカルを育てるためのサポートを

による支援を継続するとともに、稽古のための公

明確にすることも要望する。

手塚 静枝 議員

# tocoバスの活用 美笹循環車両の変更も

## 「車両の入れ替え等を検討している」

**議員** 毎年、多額な運行経費補助金を繰り出し、市民の最も身近な足として運行しているtoco（トコ）バスを、もっと活用し、拡充を図るべきではないか。

①公衆浴場福祉入浴券を利用しない方に、同等のサービスとして、tocoバス無料券を提供してはどうか。②高齢者の運転免許自主返納者にtocoバス無料乗車券を提供し、交通事故から守る支援としては。③美笹



▲美笹循環で使用されている8人乗りの車両

ン車に変更しては。

**福祉部長** ①福祉入浴券事業に対し、不公平感を持たれることは理解できるが、代替案のtocoバス事業に結びつけることは現段階ではできない。

**市民生活部長** ②市の財政負担が増加している中、受益者負担の観点や、その他交通弱者とのバランスを考えると、運転免許返納

者だけに限定した事業の実施は難しいと考える。③運行開始から5年を迎える来年11月を目途に、利便性や快適性の向上、利用者数の増加などを図る目的で、車両の入れ替え等を検討している。

高齢者向けファミリーサポート制度の実施を

**議員** 急速に進む高齢化に伴い、地域の中で支え合う制度として、要介護

度が低く、十分な介護サービスが受けられない高齢者と家族を援助するために、高齢者向けのファミリーサポート制度の実施をしてはどうか。

**福祉部長** 本市は、生活援助活動員の家事援助や、シルバー人材センター等のサービス利用をお願いしていることから、サービスの充実を図りながら、今後の市民ニーズを踏まえて検討していく。

遠藤 英樹 議員

# 自治基本条例の制定を

## 「21年度以降の実施に向けて調査研究する」

**議員** 本市のまちづくり戦略会議は、自治基本条例に関する意義から制定プロセスに至るまで詳細な提言をした。  
自治基本条例は、自治体の自治の方針と基本的なルールを定める条例で、自治体の憲法と言われており、憲法が国民と政府との契約であるのと同様に、自治基本条例は市民と市との契約と言われる。  
北海道の二七〇町で最初に作られたことで全国

に制定の動きが広がり、本市の経営改革プランにも掲げられているが、現状と展望はどうか。

**総合政策部長 経営改革プランの**  
中では平成20年度の制定予定となっているが、まちづくり戦略会議の提言書では平成21年度以降の実施とされたことから、現在は調査研究中である。

市民が参画し、条例制定への機運が盛り上がることで、来年度から始まる第4次総合振興計画の策定過程の中で制定へとつながるようにしていきたい。

**議員** 本市の市民参加は



▲ワークショップ等で市民の意見を取り入れています

進んでいると考えるし、基本構想、実施計画も充実していると考えますが、自治基本条例の制定は基本的にそれは別の課題である。人口の流出入が激しく、また、年齢も若い本市は、自治の暗黙のルールが成立しにくい。したがって自治基本条例の必要性は高いと考えるので、しっかりと進めていってほしい。

### 一般質問

## 19年度の決算見込みと20年度の予算編成は

### 「既存事業を抜本的に見直したい」

**議員** 平成18年度一般会計決算は、市税収入が4億4000万円増え、歳入総額401億円。19年度決算見込みで、歳入総額と主な款ごとの歳入金額をどう見ているか。

介護保険料の引き下げを

止を含めた抜本的な見直し、整理統合に努める。歳入見込額は、調整中であり、現段階では数字を申し上げられない。

**議員** 本市は介護保険料が県下で一番高い。高齢者の負担を軽減するため

望月 久晴 議員

め、一般会計からの繰り入れを行い、引き下げできないか。

**福祉部長** 一般会計から繰り入れは、現段階では考えていない。

給食の自校化は2校ずつできないか

**議員** 小学校給食の自校化は、当初のとおり2校ずつ進めるべきではないか。

**教育部長** 工事コストの縮減に努め、毎年1校ずつ順次進めていきたい。

自転車の安全対策の強化を

**議員** 自転車の交通事故を減らすため安全対策の強化を。

**市民生活部長** 市民への啓発、学校での交通安全教育を推進することに加え、蕨警察署に取り締まりの強化を求めている。

**総合政策部長** 限られた財源の効率的な執行を図るため、既存事業の廃

**議員** 20年度の予算編成方針は。



▲自校式給食で笑顔がこぼれています

齋藤 直子 議員

# 緑の屋根で

## 豊かな生活環境を

### 「緑化の事例を情報提供したい」

**議員** 屋上緑化の助成の利用状況やフェルトガーデン戸田の進捗状況は。

**都市整備部長** 4年間で13件、約515㎡の緑化。

問い合わせはあるが、費用面で躊躇。今後フェルトガーデン戸田を含め、安価で効率のよい情報や事例紹介をホームページ等で提供していく。

**市民生活部長** 古布フェルト等のオールリサイクル材料で軽量に開発。夏場の温度差約10度の効果。商標登録を取得し、企業等の視察も多く、実用化に入った。学校や文化会館等の公共施設や民間事業者、一般家庭にも普及を図りたい。

**議員** 今後の建築物は、一定の敷地面積や共同住

宅の戸数等による屋上等の緑化の義務づけを要望する。

**戸田公園駅〜ポートコース間の景観は**

**議員** ボートコースの一部を景観推進地区に指定したが、今後、新築された建物は、少なくとも30年は建て替え

がないと想定。無秩序な街並み状態にならないよう、駅から周辺も含め50年・100年先を考えた景観への配慮を求めたい。

**都市整備部長** 戸田公園内



▲市内企業でも屋上緑化に取り組んでいます

の艇庫・合宿所は建物の外壁塗り替え等、景観に配慮した計画・施工を関係者に要望。今後は指定区域の拡大も検討。公共サインの整備も4カ所を予定。今後は、美しい都市景観をつくるツールは整ったので、地域住民によるまちづくりが可能。

景観づくりを取り組むきっかけとして、三軒協定や景観アドバイザー制度の活用を推進。都市まちづくり推進条例「テーマ型まちづくり」での提案や、景観づくり協定地区の指定を目指した活動には、市として積極的に相談を含め支援していく。



花井 伸子 議員

## 妊婦検診の負担軽減を

### 「5回程度の公費負担を検討」

**議員** 厚生労働省は平成19年度中に妊産婦検診の公費負担を5回以上に拡大するよう方針を示した（本市は現在2回）。本市でも20年度は5回以上にすべきでは。

**医療保健センター事務長** 現在、埼玉県が中心と



▲お父さんは妊産婦マッサージでバックアップ（医療保健センター両親学級）

なり検討会を立ち上げ、本市を含め県内市町村が参加し、実施についての検討を行っている。

**市はこども保育園廃園に責任を**

**議員** こども保育園は、保護者の納得のいかないまま廃園が決められ、既に代替保育園運営法人も決定している。突然の廃園に対する保護者や子ども達への責任は重大である。代替園との引き継ぎ保育をどうするか、三者協議の場の設置など保護者の要望に応えるべきである。

**福祉部長** 園児に影響が出ないようにするため、引き継ぎ期間、その内容について協議中であること、三者協議の場合も含め、保護者と話し合い、実施法人に対し協議を図る考えである。

**二学期制の検証をすべき**

**議員** 教育委員会は、二学期制試行後の検証も示さないまま、平成21年度から市内小学校全校での二学期制実施に向け準備を進めている。試行後のデメリットも挙げられている中、アンケートを行うなど試行後の検証を行い、結果を示すべきでは。

**教育部長** 現在、「教育課程研究委員会」で研究を進めている。11月の「中教審のまとめ」では、授業時数の増加が見込まれ、この状況を見据え、校長を中心として二学期制を含めた対応策の研究を支援したい。

# 行政視察レポート

閉会中に実施した視察について、11月27日の本会議冒頭に報告されました。その概要は次のとおりです。

## 指定管理者制度特別委員会

### 保育園運営に

### 民間活力を導入

〔視察先〕  
愛知県刈谷市・愛知県蒲郡市

刈谷市は平成17年4月に新設の「おがきえ保育園」において、愛知県では初となる指定管理者制度を導入しました。現在、普通保育以外に早朝・延長・休日・一時といった特別保育も実施しており、保護者への満足度アンケートの回答はおおむね好評とのことであり、また説明後には、同保育園の現地視察を行いました。

蒲郡市は平成20年4月より、既存の「みどり保育園」を民営化することとなっており、民営化決定後、保護者に対しては説明会や「民営化だより」等を通じて、公立と民間の保育園が互いに刺激し合い、より充実した保育が実現できるこ



▲ 民間活力導入について視察（蒲郡市役所）

となど、民営化で見込まれる効果を繰り返し丁寧に説明してきました。そして、一部に残る民営化を心配する声に対しては、保育園の勤務経験が5年以上である保育士を全体の3分の1以上配置すること、民営化前の運営方法を可能な限り引き継ぐことなどの条件を移管法人に課すことで対応していきたいとのことでありました。

### 〔意見・感想〕

刈谷市と蒲郡市の保育園運営は、指定管理者制度と民営化と方法は異なっていますが、経費の縮減を図りながらも保育サービスの向上を図り、多様化する保育

ニーズにできる限り応えたいという担当課の強い思いは、共通したものがありません。視察で学んだことを、本市の保育園運営にぜひ活かしてみたいと思いました。

## 交通環境対策特別委員会

### 新たな交通体系でコンパクトなまちづくり

〔視察先〕  
福井県福井市・富山県富山市

福井市では、中心市街地を核とし、既存の都市機能を活用した持続可能な魅力ある都市「高感度コンパクトシティ」を目指しております。市民本位の便利な交通の実現に向け、都市交通の分野における施策パッケージを抽出し、関係者・関係機関と調整する「福井市都市交通戦略協議会」を設置し、「都市交通戦略」の策定が進められております。

富山市では、公共交通を

活性化させ、その沿線に住宅や商業施設等を集積することで、拠点集中型のコンパクトなまちを目指すために、既存鉄道路線を路面電車化し、「ライトレール」を運行してまいります。

ライトレールは路面電車を多面的に進化させたものであり、バスと鉄道の間隙的な輸送力を持つ中量交通輸送システム



▲ 富山ライトレールについて視察（富山市）

です。車両の床面と電停の高さはわずか30cmと低く、高齢者や障害者、車いす利用者でも乗り降りしやすくなっております。従来の車両に比べ加速や減速能力が高く、速やかな運行を実現し、CO2排出量は自家用車のおよそ10分の1など、幾つもの利点があるとのことでした。

### 〔意見・感想〕

福井市、富山市ともに「コンパクト」なまちづくりを目指し、事前の調査、検討が十分にされていると感じました。将来を見据え、環境や高齢者社会に配慮されたライトレールは、大変参考となりました。

※指定管理者制度……地方公共団体やその外郭団体に限定していた公の施設の管理を、株式会社をはじめ民間法人・NPO法人にもさせることができる制度。

# 議会運営委員会

## 政策議会で議員と執行部がフリートーク

【視察先】  
静岡県掛川市・愛知県江南市



掛川市議会では、年間プログラムにおいて、4回の定例会のうち、12月議会を「政策議会」と位置付けています。そして、3つの常任委員会協議会で、それぞれの中・長期的な課題を取り上げ、議員と執行部がフ

リートークキングにより議論をして、最終日の本会議で委員長報告を行っています。

そのほか、一般質問の発言順位は、正副議長が抽選をして決定していること、契約案件は本会議即決としていることなどについて説明を受けるとともに、円形の議場を視察してきました。

### ▲ 特色ある議会運営について視察（掛川市役所）

江南市議会では、提出された全議案について、質疑通告した議員ごとに一括して質疑をする形式をとっており、質疑・一般質問ともに、通告した議員は登壇してから自分の質疑・一般質問が終了するまで、着席することなく、登壇し続けるということでありました。また、議案の採決

掛川市議会では、政策議会の実施、また、円形の議場等、江南市議会では、質

では、全会一致の議案でも、一括して採決することなく、議案番号順に1件ずつ採決しているということでありました。

### 【意見・感想】

疑・質問で、自分の通告した分が終了するまで登壇しているなど、各市議会それぞれに、議会運営の方法、考え方が違うということを実感してきました。



## 大型プロジェクトで都市が大きく変化

開封市は、河南省の北部、省都鄭州の東側に位置し、面積は約6400km<sup>2</sup>、人口約470万人。観光都市の性格のほか、近年は商工業の発展が著しく、商工業都市の側面も有しています。

「金明小中学校」では、19年7月に青少年訪問団の一員として本市に来訪した児童生徒等の出迎えを受け、本市にホームステイした当時の率直な話を聞くこともでき、有意義な訪問であり

ました。市人民政府及び人民代表大会（人代）常務委員会の表敬訪問では、周市長ほか、人代の方々と懇談の後、市の「立法院」である人代会議場を視察しました。

「山和軽工有限公司」は、戸田市新曾にある株サンワの開封工場であり、今後、本市から開封に進出する企業があれば、双方の懸け橋として大いに協力していきたいとの抱負とともに、友

本市と開封市は昭和59年に友好都市を締結し、以来、文化・教育・スポーツ・経済などさまざまな分野で活発な相互交流が行われています。本年度は戸田市議会から5名の議員が開封市に赴き、開封市との友好・親善、両議会間の交流を深めてまいりました。

好都市の縁による多くのメリットについて話を伺いました。

### 【意見・感想】

中国中央部の開発を推進する政府の方針に伴い、多くの資本が投下され、鄭州・開封の一体化政策のもとで大型プロジェクトが展開されました。その一端として、新鄭州空港の建設、鉄道・高速道

路の整備、大型ホテルの建設、工場誘致などにより、新しい都市へ発展している変貌ぶりを、まさに目で見、身を置くことにより、胎動する都市の息吹を感じ取ることができ、改めて地道な相互交流の重要性を再認識した訪問でありました。



▲ 開封市人代常務委員会前にて

## 請願・陳情

……皆さんの意見を市政・議会に反映する手段の一つです！

議会開会日の3日前までに提出された請願は、当該議会の日程の中で所管の委員会に付託され、慎重に審査されます。

次回3月定例会への提出期限は2月22日（金）です。

請願の提出に当たっては、請願の件名・要旨・理由のほか、紹介議員の署名、提出者の住所・氏名・押印の上、議会事務局に提出してください。

陳情は、紹介議員の署名は必要ありませんが、議場における文書配布のみの扱いとなりますので、ご承知おきください。

不明な点は、議事担当へどうぞお問い合わせください。

# 議会目誌

## 10月

- ◎ 2日 戸田競艇組合議会
- ◎ 3日 川口市議会行政視察来庁
- ◎ 11日 全国都市問題会議（～12日）
- ◎ 15日 議会だより編集委員会
- ◎ 16日 指定管理者制度特別委員会行政視察  
交通環境対策特別委員会行政視察（～17日）
- ◎ 16日 戸田市議会友好都市（開封市）訪問（～20日）
- ◎ 18日 議会だより編集委員会
- ◎ 22日 戸田競艇組合議会
- ◎ 23日 愛知県半田市議会行政視察来庁
- ◎ 24日 蕨戸田衛生センター組合議会視察  
東京都下市議会議事研究会視察来庁
- ◎ 25日 県南都市問題協議会研修会／長崎県島原市  
議会行政視察来庁／蕨戸田衛生センター組合  
議会運営委員会  
議会改革特別委員会
- ◎ 26日 愛知県豊田市議会行政視察来庁
- ◎ 29日 戸田競艇組合議会視察（～30日）

## 11月

- ◎ 1日 文教・建設常任委員会
- ◎ 8日 北海道小樽市議会行政視察来庁
- ◎ 8日 議会運営委員会行政視察（～9日）
- ◎ 13日 川口市議会議員行政視察来庁
- ◎ 13日 一区議長会先進地視察（～14日）
- ◎ 15日 蕨戸田衛生センター組合議会
- ◎ 16日 戸田競艇組合議会周辺対策特別委員会
- ◎ 19日 蕨戸田衛生センター組合議会／宮城県栗原市議  
会行政視察来庁  
議会運営委員会
- ◎ 20日 大分県日田市議会行政視察来庁／北海道北斗市  
議会行政視察来庁
- ◎ 21日 文教・建設常任委員会  
県南都市問題協議会都市計画研究部会視察
- ◎ 22日 戸田競艇組合議会運営委員会  
議会改革特別委員会
- ◎ 27日 本会議：議案説明
- ◎ 28日 戸田競艇組合議会

## 12月

- ◎ 3日 本会議：議案質疑、請願の提出、委員会付託
- ◎ 4日 本会議：一般質問（～6日）
- ◎ 6日 議会運営委員会  
議会だより編集委員会
- ◎ 7日 常任委員会（総務、文教・建設、健康福祉、  
市民生活）
- ◎ 10日 特別委員会（指定管理者制度、交通環境対策、  
議会改革）  
議会運営委員会
- ◎ 14日 本会議：委員長報告・質疑・討論・採決、閉会
- ◎ 19日 北海道帯広市議会行政視察来庁
- ◎ 21日 戸田競艇組合議会周辺対策特別委員会

議会改革への取り組みなどに本市への視察が増加しています

# 議員の寄附禁止のルール

- 贈らない** 議員がイベント等で寄附をすること。
- 求めない** 有権者や町会等各種団体が議員に寄附を要求すること。
- 受取らない** 議員が寄附を持ってきても有権者や町会等各種団体は受け取らないこと。

## 傍聴席へどうぞ

**本会議** … 議場で市政の動きを実感してみませんか！

議会の傍聴は、生で市政の動きを知る絶好の機会です。ぜひ一度、議場に足を運んでみてください。  
議場には、一般傍聴席53席（車いす席2席含む）が設けられています。市役所8階の傍聴席入口で受付簿に住所・氏名などを記入すれば、だれでも傍聴ができます。

**委員会** … 白熱した議論を間近で見るチャンスです！

“より市民に開かれた議会”を目指して、「総務、文教・建設、健康福祉、市民生活」の4常任委員会、「交通環境対策、指定管理者制度」の2特別委員会を公開しています。傍聴席数は、各委員会とも一般用5席です。

不明な点については、議会事務局調査担当（048-441-1800 内線543）へお気軽にお問い合わせください。

## 次回議会の予定

21日	17日	11日	10日	7日	6日	5日	3月4日	26日	25日	2月7日	2月6日
本会議	委員会	委員会	本会議	本会議	本会議	本会議	本会議	本会議	本会議	本会議	本会議
							総括質問	（統）詳細説明	方針、総括説明、詳細説明	各種選挙、閉会	臨時会開会、議会運営委員の選任、常任委員の選任
							質疑、請願の提出、委員会付託		3月定例会開会、議案上程、施政方針、総括説明、詳細説明		
							一般質問				
							一般質問				
							特別委員会				
							委員長報告並びに質疑、討論・採決、閉会				

※日程は変更になる場合があります。臨時会・定例会の一週間に議会運営委員会内で定めますので、議会事務局にお問い合わせください。また、議会ホームページでもお知らせしていますので、ご覧ください。

議会事務局 ☎ 441-1800  
（内線523・524・543）



**昨年**、歌手デビューのアグネスチャンさんのコンサートを観にいきました。

透きとおる歌声とトークに感激。日本ユニセフの大使として、「平和の心」を歌い行動するアグネスに拍手。  
私も頑張らなくては！（静）

**初夢**は、元旦から2日の夜にかけて見る夢で、良い夢は正夢、悪い夢は逆夢と解釈します。  
現在、なぜ「一富士、二鷹、三なすび」がおめでたい夢の代表であるのか？それは江戸時代に徳川家康にあやかりたいという庶民の熱い願望から、家康の出身地で駿河（現在の静岡県）の名物が由来だそうです。さて、ことしの皆さんの「初夢」は、いかがでしたか。（E）

**昨日**年12月に、バリ島で開催された温暖化に関する国際会議で、09年期限ロードマップに温室効果ガスの削減目標を書き込むことを邪魔したアメリカ、日本、カナダは批判的に。他方で、欧州諸国は京都議定書の数値目標を達成、さらに大幅削減へ。  
地球はひとし……（花）

**編集委員会**では、議会だよりが市民の皆さんにさらに親しまれるものになるようにと、あれこれと工夫してみました。気がついていただけでしょうか……。  
読者の皆さんからの声で、さらに進化できればと思います。

（委員一回）